

いつも身近な存在でありたいと思っています

会宝通信 ~KAIHO Communication~

第145号

発行日 2013年12月1日発行

EY Entrepreneur Of The Year 2013 Japan (起業家表彰制度)

こんにちは近藤です。11月29日、帝国ホテルにおいて、新日本有限責任監査法人が日本の起業家を国際的なステージに輩出する表彰制度である、EY Entrepreneur Of The Year Japanのアワードレセプションに出席しました。今年で13年目になるそうです。10月号の会宝通信でお伝えしましたが、私はアクセラ部門の北陸代表から日本代表候補の33名の中に選ばれました。

審査は①創造性・革新性、②優位性・成長性、③国際性などの基準に基づき各界有識者により選考されます。9月26日の東海・北陸大会を経て、11月19日には審査委員による面談審査が行われ、私は当社の目指す方向性、つまり自動車リサイクルを通じて静脈産業を日本発で世界に発信することを伝えました。

当日のレセプションはその表彰式であり、大賞を受賞すると、来年6月にモナコで行われる世界大会 (EY World Entrepreneur Of The Year) に臨むことにな

ります。

レセプションには約300名が出席されたとても賑やかなものでした。まずは、各部門のセミファイナリストが表彰され、その後、部門の大賞等の表彰、そして、日本代表の発表、表彰です。最後は椎名武雄審査委員長 (日本アイ・ピー・エム株式会社元会長、経済同友会終身幹事) が総評コメントを述べ、式を締めくくりました。

残念ながら私が大賞に選出されることはありませんでしたが、起業家を表彰するステージに立てたことは、非常に貴重な経験となりました。

アワードにはさまざまな業界の方が代表候補として出席されていました。エネルギー、IT、デニム縫製、家具、リゾート再生、石材、食品パッケージ、iPS細胞、化粧品・美容系総合ポータル、障害者雇用派遣などなど。

それぞれの業界において、注目されるまでに成長された企業が一堂に介するレセプションは、私が思い描いている世界の実現に向けた、いい刺激となるものでした。



~広報コーナー~ キラリと光る存在に

今月は、農業事業部の佐近 清蔵さんからコメントをいただきました！！



・今月の出番・
農業事業部
佐近 清蔵さん

皆さまこんにちは、農業事業部の佐近です。私は4月に会宝産業に入社し、現在は会宝農園でトマトの栽培をしております。農業については10年間ほどお米作りの仕事をしてきました。農業というものは日々勉強であり、研究だと私は思っています。栽培のマニュアル本はありますが、二つとして同じ気候、同じ栽培条件の場所は無いからです。そのため、いろんな場所を見たり、いろんな方たちの話を聞いて、私たちの農園に合った栽培方法（栽培管理）を見つけていきたいと思えます。

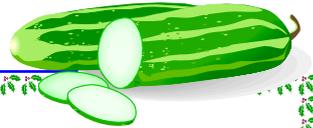
話は変わりますが、農業を仕事としてから私の趣味が少し変わりました。素朴な素材、素朴な置物に興味を持ち自分でも何か作れないかと思い、チャレンジしてみました。

いろんな物を作ってみました。現在は篠笛と植物の種を頭にしたサル(?)の置物です。9体のサルがナンテンの木の上に並んでいる置物で、9つ+ナンテン+サルで苦難去る、という縁起物の置物になっています。

こんな私ですが、今後とも宜しくお願いいたします。



農業の取組み ~農業事業部より~



《 2作目の収穫真っ盛り、栽培管理も最終段階へ 》

皆さまこんにちは、農業事業部の畠中です。11月からは、農園も冬の戦いです。廃油バーナーとハウスの防寒対策をしているとはいえ、トマトに影響が出ないかと心配です。さらに天気も雨や曇りの日が多く、ハウス内の温度も予定通り上がらない日が続いています。植物には温度と日照が必要です。そこで、11月はいかに日照を有効利用するかを考えながら栽培管理を行いました。夏の時のように毎日収穫とはいかないですが、2日に1度は収穫を行っています。この季節、温度・日照ともに少ないと、色づきと熟成度はかなり遅くなります。少しでも太陽が当たるように、まずは実が通路側に向くようにします。そして、実が葉で隠れているところは上の葉の一部を、葉が混み合っていたり、重なっている部分も葉をカットします。通路側を写した写真でも若干葉の量が減っているのが確認できますでしょうか？葉はありすぎでも取りすぎでも株の栄養バランスが崩れてしまい、株がダメになったり実に栄養がいきにくくなったりするので、そのバランスを見ながら栽培管理を行っています。

12月も収穫と栽培管理が毎日の作業になります。冬場の暖房設備の試験、防寒対策の試験も並行して行っていきますので何かと忙しくなりそうです。今よりおいしく、そして多く採れるようにこれからも試行錯誤しつつも前進しながら頑張っていきます。



改善提案の事例

～パレット一枚で解決！～

皆さまこんにちは、国際業務部の山口未夏です。先月、スクラップボンネットがラック内で滑るのを防ぐため、パレットをラックに敷くという提案をしました。

これまで、ラックに並べたスクラップボンネットが、風で煽られたり手が当たったりして、一枚が滑って倒れ、その倒れた一枚によって他のボンネットもミノ倒しになり、全て倒れることが何度かありました。元の状態に並べるには、全部のボンネットをラックの外に出して並べ直すという、非常に効率の悪いことをしていました。

しかし、そこにパレットを敷くことで、ボンネットとパレットの間に摩擦が生じ、並べたボンネットが全く滑らなくなりました。これによって忙しい業務中や作業しにくい雨の日等にボンネットを並べ直す必要

がなくなりました。現在はまだパレットを敷いているのは1ラックだけですが、時間を見つけて他のラックにも実践していきます。

このような小さな改善でも、無駄を見つけて除いていくことで作業効率上がるんだと実感しました。今後も気づいたことをどんどん改善していきます。



今月のパチリ☆

皆さま、こんにちは！

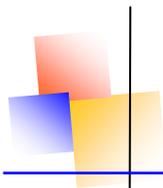
11月9日に収穫祭2013を開催しました。収穫祭は、この一年の収穫とご協力いただいている方々への感謝の気持ちを込めて開催しており、今年が4回目になります。

地元の農家さんや農業事業部にご協力いただいている方々、社長の近藤が塾長を務める「近藤塾」の塾生、当社に滞在しているバイヤーさん、そして社員と家族の合計60名が参加しました。

会宝農園でのトマト収穫体験の後、宝達志水町にある「くずの里」様へ移動し、懇親会を開催しました。毎年収穫祭ではお世話になっているくずの里様。会宝農園産のお米で作ったおにぎりや地物野菜の美味しいお料理を作っていただいているのですが、今年もこれまで以上に美味しいお料理をたくさん準備してくださいました。

参加者はみんな満腹です。こうして収穫祭を開催できたのも、たくさんの方々のご協力とご支援があったことです。お世話になった方々に心よりお礼を申し上げます。(担当:松本)





相場はどうなの? ~生産部より~

皆さまこんにちは、会宝産業の山口です。北陸では雷と共にみぞれ混じりの雨が降る季節となりました。一気に冬の到来ですね。

11月は鉄やアルミ相場がジリジリ上がる月となりました。世界的な粗鋼生産も前年を6.6%上回るなど、好調と言えます。しかし、粗鋼生産全体の48.5%を中国が占めており、中国の動向に相場が左右される結果が色濃く出ている訳です。

11月相場は良い方向に向かいましたが、我々の業界は自動車の仕入が有っての事です。その自動車がここ最近では発生が少なく、鉄相場以上に値上がりしている事を受け、利益をジワジワと圧縮してきています。

中国の景気動向も気になりますが、我々の場合、スクラップ相場に何か有った時のリスク回避は回収部品の付加価値ですが、今のうちから、リスクに対しての対策を考えるようにしております。

11月度実績

入庫台数 1,111 台

処理台数 1,100 台

ありがとうございます

こちらをクリックして下さい!



「元気ライスプロジェクト」(写真1枚で参加できるボランティア活動)

「写真を送る」という行動を、起こしていただいた皆様に感謝です。今後も出来ることから、進めていきますのでよろしくお願い致します。

●進捗報告

2013年11月30日現在 5,775 SMILE(1,305日経過)



今月のおまけ

~ 来期計画予算合宿 ~

昨年に引き続き幹部予算合宿を行いました。今年は豪華な一軒家を貸し切り! そうは言っても1人1泊2,500円!! はっきり言ってお得です。

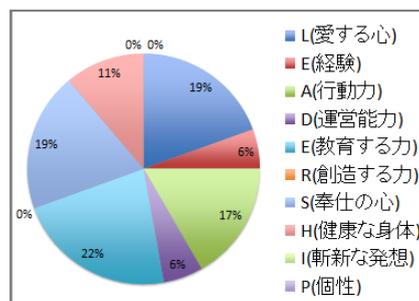
目的は来期予算を作成すると共に、結束を強めることです。数値計画作成をもとに様々なディスカッションを行いました。

また合宿の中では、コミュニケーションを図るための工夫もしました。

お互いの長所を知るために、周囲の評価をもとに各自の長所を見える化しました。(ちなみに右のグラフはある弊社幹部の長所グラフです)

また食事もみんなで作りました。食事班(5名)がメニューを考え、食事班以外の方は後片付けなどを自発的に行い、和やかな雰囲気の中でも規律のある時間でした。

宿泊も相部屋で(一部いびきのうるさい人は隔離されましたが...) 学生時代の合宿の雰囲気でした。今期の残りとも来期に向けて意識を共にし、充実した2日間でした。(担当: 佐藤)



会宝産業株式会社

〒920-0209 金沢市東蚊爪町1-25

車両課 (車両引取り・査定)

TEL 076-237-5133

FAX 076-237-1950

Email: sales@kaiho.co.jp

〒920-0209 金沢市東蚊爪町1-23-3

部品課 (部品注文/担当: 大森・鹿野)

TEL 076-237-5138

FAX 076-237-6090

Email: kokunai@kaiho.co.jp

ホームページもご覧ください。
<http://www.kaiho.co.jp/jp/>
ご意見ご要望はこちらまで
soumu@kaiho.co.jp (担当: 松島)

